

発行所 〒102-0083
 東京都千代田区麹町4-5 海事センタービル内
 日本海洋少年団連盟
 電話 03(5213)4778
 (年6回奇数月の1日)
 5月、7月合併号
 購読料 1部10円(送料実費)
 会員会費には購読料が含まれる
 振替東京 5-13846番

海洋少年団通信

Japan Sea Cadet Federation

ちかい

1. 海のような広い心で団結し すべての人を友とします。
2. からだをきたえ、心を養い 立派な海の子になります。

神戸海洋少年団がスタート

神戸開港150年に向けて再結成



2月27日、神戸海洋少年団が結団式を挙行了。神戸では、昭和26年に当時の神戸市長を団長として海洋少年団が設立され、長年にわたる活動を続けていたが、

少年団が結団式を挙行した。神戸では、昭和26年に当時の神戸市長を団長として海洋少年団が設立され、長年にわたる活動を続けていたが、

少年団が結団式を挙行した。神戸では、昭和26年に当時の神戸市長を団長として海洋少年団が設立され、長年にわたる活動を続けていたが、

少年団が結団式を挙行した。神戸では、昭和26年に当時の神戸市長を団長として海洋少年団が設立され、長年にわたる活動を続けていたが、

少年団が結団式を挙行した。神戸では、昭和26年に当時の神戸市長を団長として海洋少年団が設立され、長年にわたる活動を続けていたが、

少年団が結団式を挙行した。神戸では、昭和26年に当時の神戸市長を団長として海洋少年団が設立され、長年にわたる活動を続けていたが、

平成28年度 国際交流事業決定

平成27年度日本海洋少年団連盟国際委員会が2月20日(土) 14時から15時まで、築地社会教育会館で開催された。

会議は、橋川国際委員長(南勢団団長)、中川副委員長(千代田区団長)、高取委員(北海道地区事務局長、札幌団団長)、甲方委員(岩国団団長)及び新村委員(南九州地区連盟会長・鹿児島団団長)が出席し、今年度の事業報告及び国際交流活動収支概算報告、

27年度事業報告

まず、今年度の事業報告について、事務局から会議資料に基づき、招請事業(米国、英国、カナダ、香港)、ISCA関係事業(オランダ総会へ代表団派遣)等についての説明が行われ、代表団としてオランダ総会に参加した橋川委員長から会議概要が報告された。続いて、国際交流活

28年度事業について

次に、来年度の事業計画について、事務局から会議資料に基づき、次のとおり説明が行われ、海外派遣(可能な全ての国に派遣)を行う。派遣団長の航空運賃等は、全額日本連盟が負担し、団員の航空運賃等は全額自己負担とするが、現在申請中の万博基金の助成が認められた場合は、団員の経費の一部を日本連盟が負担する。

招請事業は行わない。ISCA関係事業は、日本代表団をインドに派遣する。

また、事務局から国際委員の任期が今年度で終了するため、3月に開催する理事会で国際委員の選任を行うこととしているが、各委員を再任することで調整したいとの説明があり了承された。

以上ですべての審議等が終了し散会した。

海洋少年団の強化・活性化に向けて

日本海洋少年団連盟は、平成25年12月から海洋少年団の強化・活性化のため、「団員1万人回帰運動」を推進しており、地区連盟や既存団の協力を得て、設立等のために各地で活動を続けている。

別掲のとおり念願であった港町神戸に海洋少年団が誕生した。浜松市では、静岡県立三ヶ日青年の家が中心になって、海洋少年団の設立に向けて活動を続けており、すでに団長候補者等が決定し、設立時期等について地元と調整している。

高松市では、平井卓也衆議院議員が中心と



今月の主な記事

2面 日本連盟指導者について、我ら海の子展募集、上級指導者養成研修他

3面 みどりの広場

4面 各地活動報告(四日市団、南勢団、清水団、佐世保団)他

国名	アメリカ	カナダ	英国	韓国	香港
派遣期間	6月28日(火)~7月10日(日)	7月23日(木)~8月7日(日)	8月6日(土)~8月20日(土)	7月24日(日)~8月7日(日)	7月31日(日)~8月8日(月)
募集員数	指導者1、団員4	指導者1、団員4	指導者1、団員	指導者1、団員5	指導者1、団員
団員の年齢	15歳~18歳	15歳(誕生日は2001/2/1以前)~18歳(8/7時点)	18歳以下	13歳~18歳	14歳以上
参加条件	要英会話(堪能)	要英会話	全員英会話堪能	要英会話	英語または中国語での意思疎通ができること
募集締切(意向)	至急	3月10日	3月1日	3月3日	6月1日

※費用は、参加費の他に、国内移動旅費、国際航空運賃、海外旅行保険、現地における小遣い等がかかります。

〈お知らせ〉

平成27年度 第二回通常理事会
 【日時】平成28年3月15日(火)
 【場所】日本船主協会役員会議室(東京都千代田区平河町2-16-4海運ビル)

平成28年度 第一回通常理事会
 【日時】平成28年5月18日(水) 予定
 【場所】日本船主協会役員会議室

平成28年度 定時総会・団長会議・臨時理事会
 【日時】平成28年6月9日(木) 予定
 【場所】ホテルマリナーズコート東京(東京都中央区晴海4-17-28)

平成28年度 事務局長会議
 【日時】平成28年6月10日(金) 予定
 【場所】未定

※詳細については決まり次第お知らせいたします

日本海洋少年団連盟の指導者について

日本海洋少年団連盟は、平成20年度から、指導者増強キャンペーンの実施、上級指導者養成研修の開催、関係規定の改正等により指導者の確保を図っているが、十分な指導者を確保出来ていない状況にある。

このため、平成25年4月1日に公益法人に移行した際に指導者制度の見直しを行い、更に、平成26年度には日本海洋少年団連盟指導者協議会を設置するとともに、「海の訓練ワークショップ」、「指導者確保の手引き」及び「指導者募集リーフレット」を作成するなどにより、指導者の強化、拡充に努めている。

【公益法人移行時の主な変更等】

- 各級指導者の責務を追加。
- アシスタントインストラクターを主任指導者に、インストラクターを統括指導者に名称を変更。
- 指導者の要件を「準指導者」として指名され、又は、単位団に入団後1年以上を経過し、地区連盟が主催する指導者養成研修を修了している者に一部修正。

☆平成22年3月16日

ただし、新設される海洋少年団の指導者及び海上勤務6ヶ月以上の経験者等については、1年以上の指導経験を免除。

○他の少年団体等の指導資格者、本連盟が必要と認める知識、技能等を有する者は、指導者養成研修の修了を免除。

○「指導者登録簿(ワッペン)」を「指導者登録簿(肩章)」に変更。

○「資格審査委員会決定事項」

☆平成20年5月22日
平成16年4月1日の連盟規約改正前に満20歳以上で団員の指導的立場にあった者については、改正前の指導者基準に係る連盟規約を適用する。

注)指導者養成研修の受講は不要。

☆平成22年3月16日
全国指導者研修了者
・日本海洋少年団連盟が主催した「全国指導者研修会」(昭和27年(昭和62年)、「管理指導者研修会」(平成2年(平成3年)及び「指導者研修協議会」(平成4年)を受講した研修生は研修了日を遡って登録されたものとする。

・新団登録申請記載者
昭和52年3月31日以前に新団結成時の指導者として届出をされた者は、新団登録時をもって指導者に登録する。

☆平成27年3月17日
入団後、10年以上、海洋少年団において団員の指導に当たっている成人会員の指導者登録については、指導者養成研修の修了を免除する。

海洋少年団の強化・活性化に向けて(第6報)

第12回海洋少年団活性化協議会を開催

日本海洋少年団連盟は、2月23日(火)に日本船主協会会議室において第12回海洋少年団活性化協議会を開催した。

会議には、国土交通省、海上保安庁、独立行政法人航海訓練所、海軍関係団体等の活性化協議会メンバー、植村海事振興連盟事務局長、磯谷理事長、青木事務局長等24名が参加し、各地区で設立を進めている海洋少年団強化活性化地区プロジェクトチームの進捗状況や今後の予定、新団設立に向けた動き等についての説明、各メンバーの活動状況の報告、海洋少年団の強化・活性化を積極的に推進するための意見交換等が行われた。

また、東京オリンピック・パラリンピックまでに団員を1万にすべく、推進策を更に加速する必要があるため、次回の活性化協議会までに協議会メンバーが持っている支援可能な会員企業等の基礎資料を収集することなどが提案された。

平成27年度

上級指導者養成研修開催(東京)

2月27日(土)及び28日(日)に日本連盟主催「上級指導者養成研修」が中央区女性会館ブーケ21において開催された。

この研修は、3年以上の指導歴のある日本連盟認定の指導者が更に高度な知識、技能を習得することを目的に、一層のスキルアップを図るとともに、地区連盟において指導者研修を主催し、指導者養成等に当たる日本連盟認定上級指導者の養成研修として開催するもので、石井澄夫(藤沢団)、小河愛由美(藤沢団)、中村行雄(南勢団)、川口啓太(南勢団)及び岡本貴史(浜田団)の5名が参加し、少年団活動の実施に当たって必要な事項や指導者研修を主催するための知識等についての講義が行われた。

この研修の講師は、廣瀬肇海上保安大学校名誉教授・広島文化学院大学教授の廣瀬教授による「海洋少年団活動の地域への情報発信の仕方などについて理解を深めること」が中心であった。

1日目(2月27日)
午前10時10分に開講式が行われた。はじめに日本連盟磯谷理事長が挨拶を行い、続いて研修生長の指名、研修日程等の説明を行い研修が開始された。

研修は、磯谷理事長による「広報要領」、引き続き堀川参事による「日本連盟改革の現状」の講義が行われ、午前中の研修を終了した。

午後は、はじめに堀川参事による「シーマシッピング」、続いて永田准教授による「海洋少年団活動と地域連携」の講義が行われたが、最新のマーケティング理論に基づく団員確保の手法や保護者へのPRの方法などについて、海洋少年団活動の地域への情報発信の仕方などについて理解を深めることができた。

引き続き廣瀬教授による「海洋少年団活動と危機管理」の講義が行われ、野外活動時における事故防止やリスク管理などについて、判例を基に具体的な解説等が行われ、海洋少年団活動時における安全確保や危機管理等の講義が行われ、団活動時における安全の確保等を再認識するまたない機会となった。以上で初日の研修を終了し、その後、夕食にあわせて意見交換会が実施され、大学の先生方を中心に活発な意見交換が行われた。

2日目(2月28日)
2日目は、最初に山下准教授による「児童の特性と指導法」の講義が行われたが、青少年の年齢別特性と指導法を中心に講義が行われ、研修生が経験等により身につけていた児童の年齢別特性等について学び、学術的な裏付けがなされるとともに、最近の研究結果等についても講義があり、今後の指導のあり方等を再認識するまたない機会となった。

続いて堀川参事による「組織管理運営・海洋少年団の在り方」、「指導者養成研修」の企画、調整、実施等についての講義と意見交換が行われ、すべての講義が終了した。

その後、履修認定会で参加した全研修生の履修が認定され、閉講式では日本連盟磯谷理事長から修了証書の交付、堀川参事が研修の講評を行い、研修の全行程を終了した。

平成27年度 褒状山縣賞の受賞者が決定

日本海洋少年団連盟は、一般財団法人山縣記念財団助成事業「平成27年度褒状山縣賞」を次の14名に授与することを決定した。

木村孝志、本間丈夫、浮木隆、相内一泰、松本美郷(八戸団・指導者)、立石渉(清水団・卒団予定者)、兵藤伸一(中日団・指導者)、川口達美(南勢団・卒団予定者)、宮地純、江島謙(福岡団・指導者)、坂井仁美(福岡団・準指導者)、田中稔、南峽子、濱田宗一郎(佐世保団・指導者)

3月11日(金)に日本郵船株式会社にて褒状山縣賞の表彰式、草刈会長との懇談及び山縣記念財団への表敬訪問、12日(土)は海上保安庁の巡視艇による東京湾横浜間の体験航海、横浜海上防災基地にて海上保安庁資料館や横浜の海事関係博物館の見学等の海事関係研修、13日(日)は東京にて、歴史関係研修を行うこととしている。

第44回 絵画コンクール 我ら海の子展 作品募集

中学生の募集が始まります

全国の少年少女の皆さん、海や船の絵を描いてみませんか。「船」「海や船で働く人」をテーマにした作品を募集します。平成28年度からは全国中学生海の絵画コンクールと統合し、中学生も対象となりました。応募締切は平成28年6月30日(木)。

▲テーマ-「私の海」船舶、海や船で働く人、海の環境保全や震災復興、海の生物など海を自由に表現。

▲応募資格-中学生、小学生、幼児

▲規定-4つ切画用紙(38×54cm)、タテヨコは問わない
絵の具・クレヨン・貼り絵など自由
裏面に郵便番号、住所、氏名(ふりがな)、年齢、電話番号、団名及び学校名、学年、幼稚園名、を明記。

▲賞-国土交通大臣賞(中学生の部、小学生以下の部)
日本海洋少年団連盟会長賞
日本船主協会会長賞 他

▲特別審査員-さかなクン(東京海洋大学名誉博士) 安倍昭恵総理夫人 他

▲主催-(公社)日本海洋少年団連盟
(一財)サークルクラブ協会



第43回国土交通大臣賞
掛川瑞生さんの作品

▲送り先-(問い合わせ先)
〒102-0083
東京都千代田区麹町4-5
海事センタービル内
(公社)日本海洋少年団連盟
TEL 03-5213-4778
FAX 03-5213-4779
Eメール jsf@green.ocn.ne.jp
公式ホームページ http://aqua.club.or.jp/



この研修の講師は、廣瀬肇海上保安大学校名誉教授・広島文化学院大学教授の廣瀬教授による「海洋少年団活動の地域への情報発信の仕方などについて理解を深めること」が中心であった。

引き続き廣瀬教授による「海洋少年団活動と危機管理」の講義が行われ、野外活動時における事故防止やリスク管理などについて、判例を基に具体的な解説等が行われ、海洋少年団活動時における安全確保や危機管理等の講義が行われ、団活動時における安全の確保等を再認識するまたない機会となった。以上で初日の研修を終了し、その後、夕食にあわせて意見交換会が実施され、大学の先生方を中心に活発な意見交換が行われた。

2日目(2月28日)
2日目は、最初に山下准教授による「児童の特性と指導法」の講義が行われたが、青少年の年齢別特性と指導法を中心に講義が行われ、研修生が経験等により身につけていた児童の年齢別特性等について学び、学術的な裏付けがなされるとともに、最近の研究結果等についても講義があり、今後の指導のあり方等を再認識するまたない機会となった。

続いて堀川参事による「組織管理運営・海洋少年団の在り方」、「指導者養成研修」の企画、調整、実施等についての講義と意見交換が行われ、すべての講義が終了した。

その後、履修認定会で参加した全研修生の履修が認定され、閉講式では日本連盟磯谷理事長から修了証書の交付、堀川参事が研修の講評を行い、研修の全行程を終了した。

みどりの広場

「リーダー研修会で学んだこと」

福岡団 伊原 潤

ぼくは、このリーダー研修会でたくさんの方と学ばせていただきました。一つ目は大きなこえの出し方を学びました。ぼくは、いままでこえをあまりださなかったです。でもこのリーダー研修会で、おもしろいことなど学んだこと、二つ目は、基本動きの大切さとうれいこのこえの出し方です。こうしんの「右むけ前へ進め」など新しいごうれいもまなびました。

ぼくは、自分の団にもどってリーダー研修会とはなにかだと思いま

す。リーダーとは、最初の研修でリーダーのいろいろのことを学びました。最後の研修で(せっきょく)ということをやりました。とてもせっきょくに動いたり、りっこうほしたりするのリーダーだとよく思いました。ぼくはせっきょくにがまったくできていませんでした。

「野間合宿」

中団 三林 まお

私は、野間合宿でいろいろな事を学びました。一つめは、記号をのぼすことを学びました。なぜなら、けんていで少し泳げなかつたので、次の野間で記号をのぼしたいからです。二つめは、いちばんさいごまであきらめずにやることです。理由は、けんていで、いちばんさいごまであきらめずにできたからです。

楽しかった事を五つ発表します。一つめは、海に入ること。なぜなら海に入った事がないからです。二つめは、部屋の子としゃべれた事です。なぜなら年上の人たちといっしょに話せたからです。三つめは、宝さがしです。なぜなら、いっばい紙がとれたからです。四つめは、きもだめしです。なぜなら、きもだめしを一回もしたこと

「リーダーとしての行動」

門司団 八島 功祐

今回の研修会で一番学んだことはリーダーとしての自覚を持つことと自ら積極的に動き、常に周りの状況を見て、後はいの手助けをすることです。

今回の研修会はリーダーとして班長や総括の仕事や後はいへのアドバイスがまったくできていませんでした。教官のところへ「班長をさせてください。総括をさせてください」と言いに行くのが一回

でももっと反省するべきところは溝上教官に一番言われたように後はいを守ることや後はいへのアドバイスをする事です。後はいが総括になったり、とまどったりしていても自分がアドバイスをしたり、後はいが列をはずされたりしても教官

「二回のリーダー研修で学んだこと」

古賀団 木島さくら

私が、二回目的リーダー研修で学んだことは、三つあります。

一つ目は、いつでもどこでも、大きな声を出して返事をすることです。

理由は、江島教官に名前を呼ばれたときや朝のあいさつのときに小さな声で返事をしていた、大きな声が出せるといわれたときにし

もう一つは、自分がそう活に自分と同じ年

「リーダー研修で思ったこと」

大分団 羽田野心緑

ぼくは、この研修に初めて来たのでまだ分からないことばかりでした。この研修会の初めの研修ではいきなりおくれまして怒られました。ぼくは次の研修では絶対におくれなようにしようと思

ぼくは、ちかいや約束の意味を全然知らなくて、知ったときはこれをしつかりと意味をおぼえておこうと思

ぼくは、自分の大きな声で、自分では大き

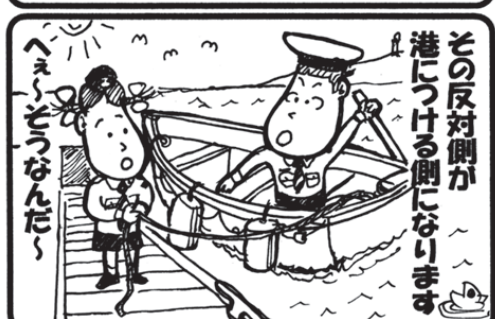
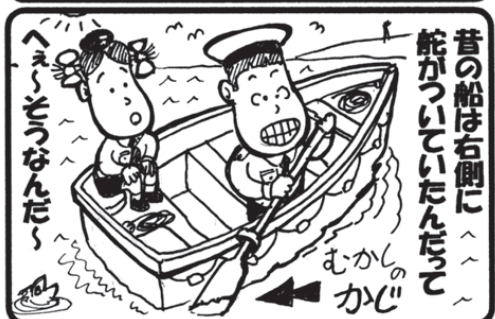
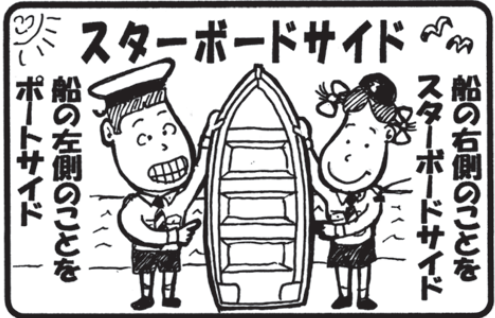
「全国大会」

中団 三林そつ太

全国大会に行きました。そこで、ロープの個人と団体と手旗の個人に出ました。結果は、ロープの個人しか満点ではなかったです。結果は、果はそこまですぐはな

たことは、他の団と交流して、いろんな子と仲良くなって、その仲が良くなった子とたくさんしゃべったから楽しかったです。他にも、数えきれないほどの楽しいことがありました。これからの出る大会は必ず満点を取りたいです。

うみた ひろみ VOL.133
海太と洋美 作・ちば へーた



めしを一回もしたことがないからです。五つめは、電車にのった事です。なぜなら、家族でしかのったことがないからです。

今年の野間は、いろんな事を学んで、いろんな思い出ができました。来年の野間は学んだ事といっばい作りた

らといって何もせずにその場に居るのではなくて、自分で協力しにいたり手伝ったりすることです。

今回のリーダー研修で私は班長に一時なっ

もう一つは、自分が班長やそう活を任せられたときは、自分が弱気になってはいけません。

もう一つは、自分が基本動作で昼食を食べながらロープワークにネクタイの結び方を注意されました。ぼくはいつもネクタイがズボン部分までくるのでネクタイが服の長さで止まるように結べるように練習したいです。

救急法では人が倒れているときのたすけ方やAEDの使い方を学びました。いざというときのためにおぼえておくといいなと思

最後の日の総合研修のときには基本動作をたくさんしました。行進のことをとくにしました。

ぼくはこのリーダー研修で学んだことをしつかりおぼえておきたいと思

みどりの広場

「初めての研修会で思ったこと」

福岡団 貞方勇之丞

僕は、初めてのリーダー研修会で一番大事だと思ったことは、4つあります。

1つ目は、声だと思いましたが、その理由は、相手に遠くから物事を伝える時に、声が小さかったら何を言っているのか伝わらないかな」と迷ってしま

何回も言うからです。3つ目は、区別です。宮地副団長が、楽しい時は楽しくする。訓練の時は訓練をする、と区別をつけることが大事だと言っていました。区別をつけたいと訓練中に一人だけふざけていたら、連帯責任になってしまい、他の人にもめいわくをかけてしまうと思っていました。

4つ目は、人の話をよく聞くことです。人の話を聞かないと、一人だけがう所や危険な区域にいつてしまつて、けがをしてしまうからです。

最後に一番心に残ったことは、ほんの人たちと協力しあうことです。一人じゃできないことをみんなでやると、達成感でるからです。これからも、5つのことを大切に、海洋や日常生活でも生かしていきたいと思

「初めてのJr.リーダー研修会の感想」

佐世保団 宮崎 哲生

僕が、このJr.リーダー研修会に来たのは理由があります。それは、リーダーがどんなものなのか、どのくらい大変なのかを学ぶことです。

2日目の研修④(等級毎)から二班班長をやらせてもらいましたが、一回並べて報告するのにとっても時間がかかりました。その後、ぼくのこういにより、

いいから、一所けん命にする。」の三つです。覚えておきます。

初めてAEDの使い方や胸骨圧迫と人工呼吸の仕方を教えていただきました。人口呼吸のマウス(口にはめるもの)は常備したり、新しい(知らない)場所に来たらAEDの場所を確認したりします。

ロープワークの研修では、ウインザーノットの結び方を知りました。ロープワークは、いろいろな場面で使う

「将来の夢」

舞鶴団 松原 壮来



僕の夢は、自動車を作ることです。僕は小さい時から物を作るの

が大好きです。自動車工場を見学した時、自動車ができていくのがとてもかっこいいと思いました。

僕は安全で、環境にやさしい自動車を作りたいです。

「将来の夢」

舞鶴団 長谷川雄大



ぼくは、ゲームが好きだから、しょう来の職業はゲームクリエイ

ターでキャラクターを作ったり、そのゲームをためしたいと思いました。だから今のうちに想像力を大きくしたいし、自分のゲームの好きさを生かしてゲームを作りた

四日市団

☆今年も良い年に初こぎ訓練に汗☆

四日市海洋少年団 (林正次団長)の団員らが一日早朝、四日市



港沖の伊勢湾で恒例の初こぎ訓練をした。小学生から高校生の団員とOB、指導者ら計25人が訓練用カッターと警備艇に乗船。四日市港の旧港から3キロ沖合までこぎ出した。団員らは午前7時ごろ、水平線から真っ赤な太陽に向って長さ三メートルのオールを垂直に「かい立」をした。「今年も良い年にしよう」と志を新たに

南勢団

☆新春の伊勢路 剣峠を越えて☆

新春の1月9日、恒例の耐寒訓練が地元南勢小・中学校の児童生徒や保護者、一般の方々・スタッフ12名が参加して行われた。今年



一路伊勢神宮を目指した。途中、全行程の三分の一ほどの剣峠で休息し、水分補給後記念写真を撮った。その後は昨年よりタイムを縮めようと歩く人や、赤ん坊をカートに入れて歩く保護者の方もいて、それぞれの力に応じて内宮を目指した。

今年、23・7kmを3時間15分から5時間50分かけて無事にゴールインし、到着後は参拝客で賑わう伊勢神宮周辺を、友達や家族と楽しみ、二台のバスにて帰路についた。

清水団

☆スポーツで 団員交流会☆

1月16日・17日、富士山麓の朝霧野外活動センターに、千葉北部団・千葉新団・清水団の45名が集まり、ス

ケートをはじめ体育館・芝生広場での軽スポーツ、プラネタリウム等で、団員同士の交流を楽しんだ。



とりわけ、スケートは初めての団員も、2回の練習で目を見張る上達ぶり。次回は、3月の連休に、浜名湖・三ヶ日でカッター合同訓練を計画している。団員たちは、また再会するのを楽しみに各地に戻った。

佐世保団

☆帆船海王丸を見学☆

1月30日、この日佐世保団は、訓練の一環として佐世保港に寄港中の帆船海王丸の見学を行った。今回の見学も佐世保海上保安部長



の紹介による昨年の『銀河丸』に続いての特別な見学会となった。帆船海王丸は、船員教育訓練とあわせて青少年のために利用するものとして国の補助金、日本財団補助金、一般からの寄付金等により建造された帆船である。



見学では、まず最初に船内にてDVDによる座学が行われ、機関制御室や実習室が実際に居住している生

へお知らせ

○日本連盟事務所移転
平成28年2月1日(月)より当連盟事務所を移転しました。つきましては、電話番号等も変更となりましたので登録の変更をお願い致します。

【新住所】
〒102-0083 東京都千代田区麹町4丁目5番地 海事センタービル4階

【新電話番号】
03(52213)4778

【新FAX番号】
03(52213)4779

【交通案内】
東京メトロ有楽町線 麹町駅2番出口より徒歩3分

活感のある部屋を見学する事ができた。デッキにあがってからは、実際に色々な資機材を使つての体験が催され、乗船実習中の福岡団の宮地海指導員を交えた体験訓練を行い、団員からの色々な質問に答えてもらった。団員にとって貴重な体験となった。

佐世保団は、世界中の色々な艦船の佐世保寄港をお待ちしております。

今回の見学の様子は、独立行政法人航海訓練所のFacebookに掲載 (https://www.facebook.com/jsf.sasebo/)

○平成28年度の海上保安庁の観閲式は中止となりました。

○次号の5月1日号はお休みとさせていただきます。7月1日号に合併号として発行いたします。